

20代・若手人材の「転職観」
- 最新トレンドを紐解く -



転職意識調査レポート

つくるのは、未来の選択肢

学情

GAKUJO

東証プライム上場

20代転職希望者（「Re就活」サイト来訪者）対象

転職意識調査レポート2023 20代・若手人材の「転職観」—最新トレンドを紐解く—

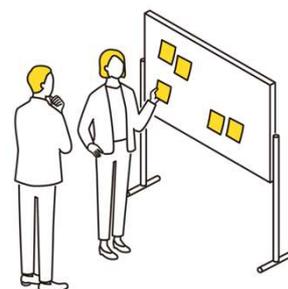
株式会社学情では、20代の「転職観」を調査すべく、20代の転職希望者を対象に

「就職・転職活動に関するアンケート」を実施いたしました。

その回答を集計し「転職意識調査レポート2023 20代・若手人材の「転職観」—最新トレンドを紐解く—」として発表いたします。

INDEX

- 01 回答者属性 . . . P3
- 02 「転職」の捉え方 . . . P5
- 03 就職活動と転職活動の違い . . . P6
- 04 転職理由 . . . P7
- 05 求人情報で重視するポイント . . . P9
- 06 転職の方向性（転職で実現したいキャリア） . . . P11
- 07 応募前の情報収集 . . . P12
- 08 選考過程での情報収集 . . . P13
- 09 カジュアル面談 . . . P14
- 10 転職活動を行う時期・時間 . . . P15



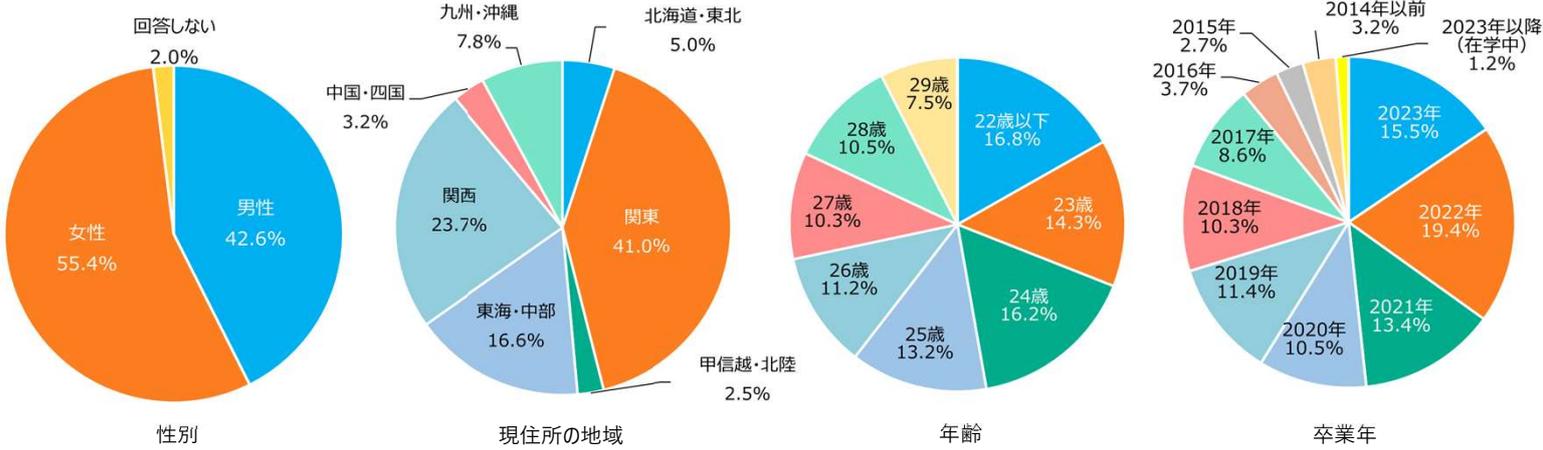
TOPICS

- 20代の6割超が、社会人になる前から転職を視野に。
一方で20代の約7割は、実際に転職活動する際「転職すべきか迷うことがある」と回答。
(p5)
- 8割超の20代が「就職活動と転職活動では、企業を選ぶ視点が変わった」と回答。
ヤングキャリアは年収や昇給・昇格ペース重視、第二新卒は社風やカルチャーフィット重視の傾向。(p6)
- 求人情報で重視するポイントは「職種・仕事内容」が最多。
より詳しく知りたい情報は「具体的な仕事内容」「会社や部署の雰囲気」。(p9)
- 20代の半数以上が、転職で「キャリアチェンジ」を希望。
経験業種・職種と異なる仕事に挑戦する傾向。(p11)
- 企業理解を深めるために活用したいコンテンツは「動画」が45.5%で最多。
理解をより深められる動画は「社員の一日を知ることができる動画」が最多。(p12)
- 選考過程で実施して欲しいことは、ヤングキャリアが「職場見学」、既卒・第二新卒が「カジュアルな面談」。最も知りたいことは「未経験でもやっていけるか。」(p13)
- カジュアル面談で聞きたいことは「入社した場合に自分が行う仕事内容」が最多。
「カジュアル面談に参加し、志望度が上がった」と回答した20代が7割に迫る。(p14)
- ヤングキャリア・第二新卒の4割前後は3ヵ月以上先を見据えて転職活動を行う。
求人サイトを閲覧するのは、平日のお昼時や就業時間以降の閲覧が多い傾向。(p15)

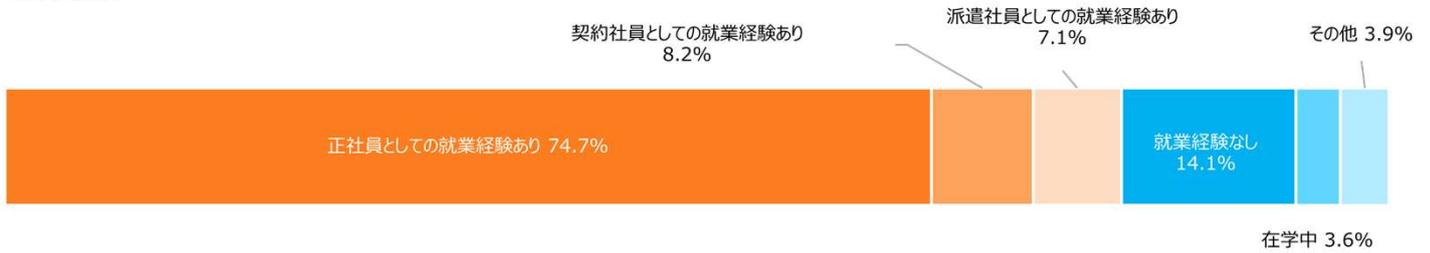


01 回答者属性

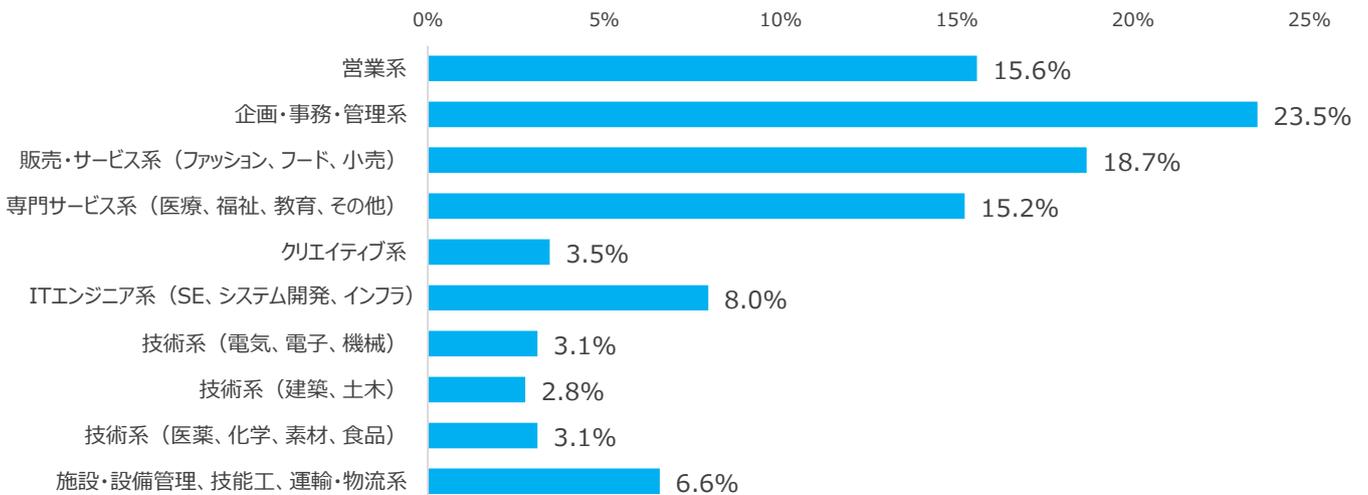
■ 基本情報



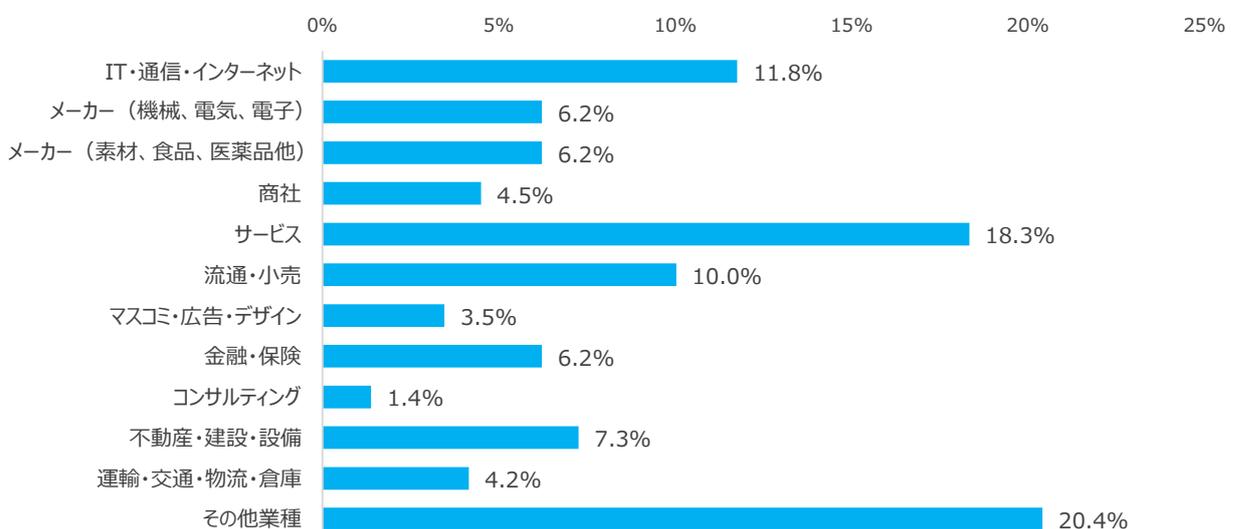
■ 就業経験



■ 就業中の職種 (※就業状況：「在職中」を選択した20代が回答)



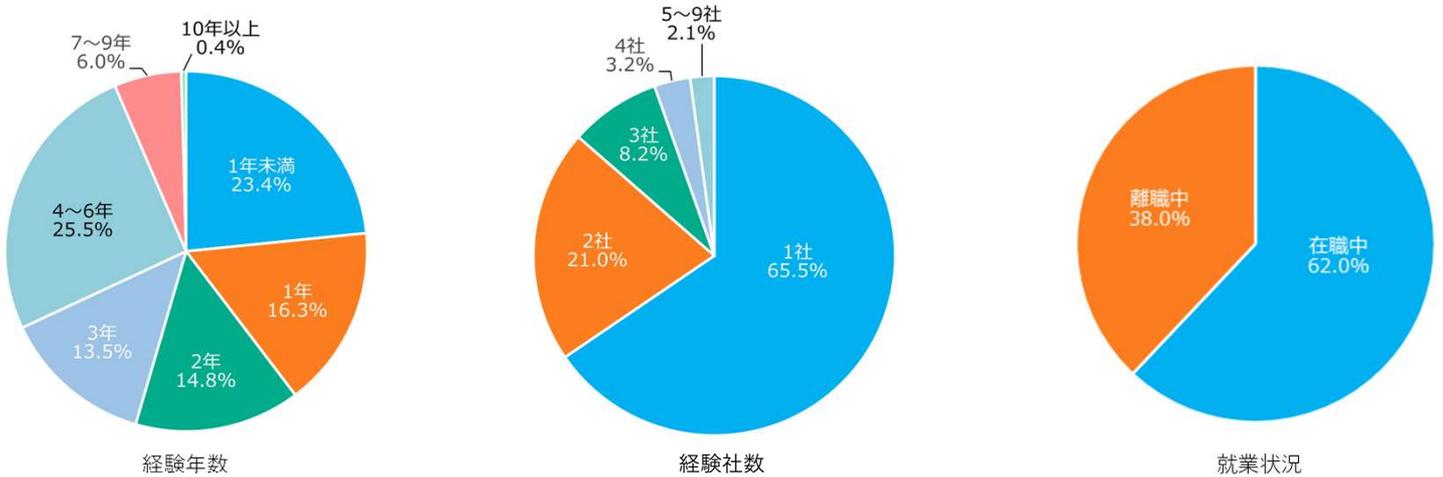
■ 就業中の業種 (※就業状況：「在職中」を選択した20代が回答)



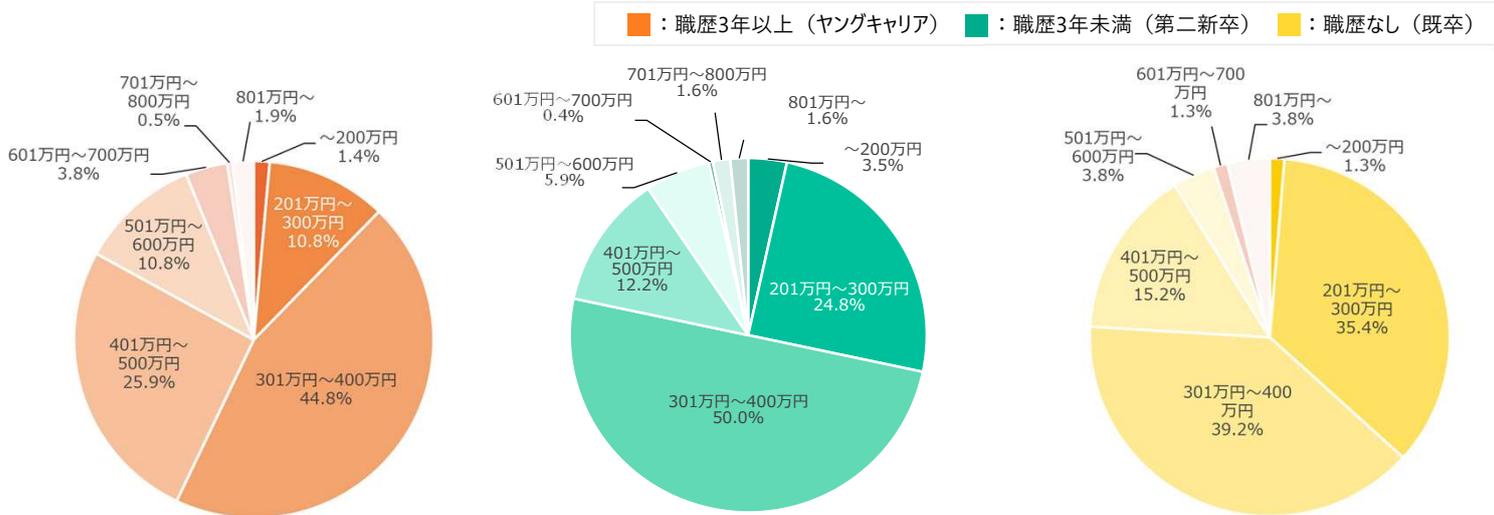
調査概要

- ◆対象 : 20代転職希望者（「Re就活」サイト来訪者）
- ◆調査期間 : 2023年7月3日～2023年7月16日
- ◆有効回答数 : 561件
- ◆調査方法 : Webアンケート調査を実施
- ◆記載事項について : 複数回答を認めている設問では、回答計は100%を上回る。
 百分比(%)は端数処理の関係上、合計が100%にならない場合がある。

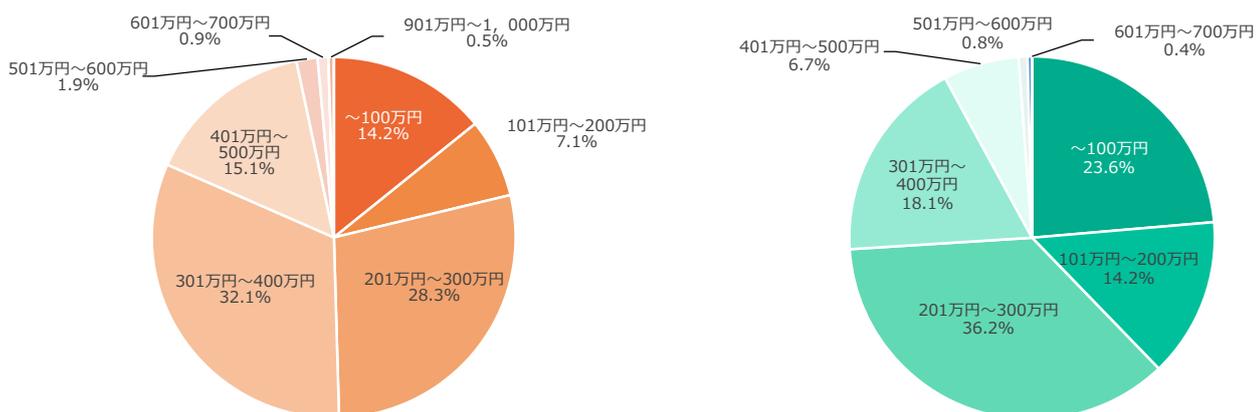
■ 就業経験（※就業経験がある20代が回答）



■ 希望年収



（参考）現在の年収（※就業状況：「在職中」を選択した20代が回答）



02 「転職」の捉え方

20代の6割超が、社会人になる前から転職を視野に。
一方で20代の約7割は、実際に転職活動する際「転職すべきか迷ったことがある」と回答。

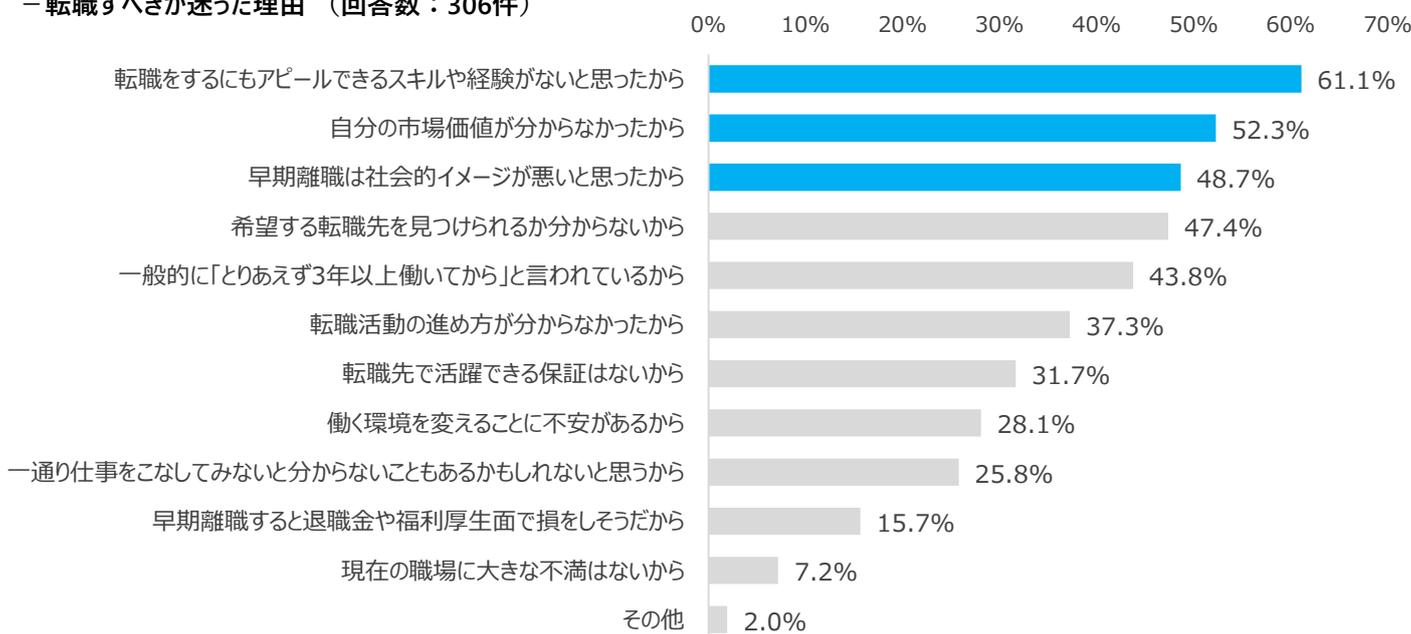
Q.社会人になる前から、転職を視野に入れていましたか？（回答数：466件）



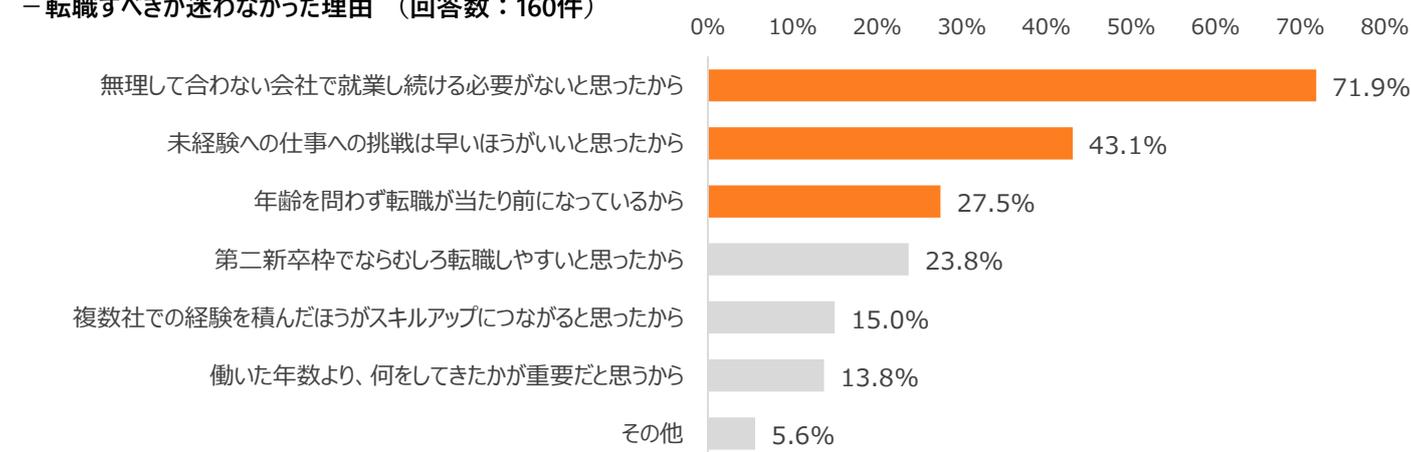
Q.実際に転職活動をするにあたって、転職すべきか迷うことはありましたか？（回答数：466件）



－転職すべきか迷った理由（回答数：306件）



－転職すべきか迷わなかった理由（回答数：160件）

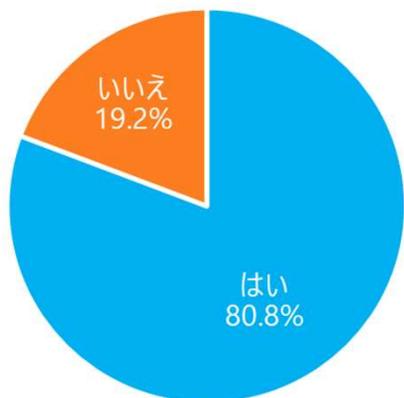


「社会人になる前から、転職を視野に入れていた」と回答した20代が61.8%に上りました。しかしながら、「転職活動をするにあたって、転職すべきか迷うことがあった」と回答した20代もまた65.7%に上り、7割弱の20代が実際に転職するか迷う経験をしていることが分かりました。転職すべきか迷う理由は、「転職をするにもアピールできるスキルや経験がないと思ったから」が61.1%で最多。「自分の市場価値が分からなかったから」52.3%、が続きました。「一般的に『とりえず3年以上働いてから』と言われているから」も43.8%の回答を集めており、転職すべきか迷う20代は、新卒で入社した企業で一定期間働くことが必要だと考えていることがうかがえます。転職すべきか迷わなかった理由は、「無理して合わない会社で就業し続ける必要がないと思ったから」が71.9%で最多。「未経験の仕事への挑戦は早いほうがいいと思ったから」43.1%、「年齢を問わず転職が当たり前になっているから」27.5%が続きました。

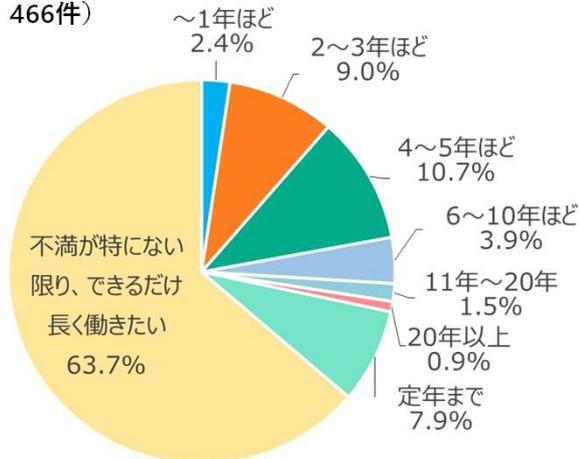
03 就職活動と転職活動の違い

8割超の20代が「就職活動と転職活動では、企業を選ぶ視点が変わった」と回答。
 ヤングキャリアは年収や昇給・昇格ペース重視、第二新卒は社風やカルチャーフィット重視の傾向。

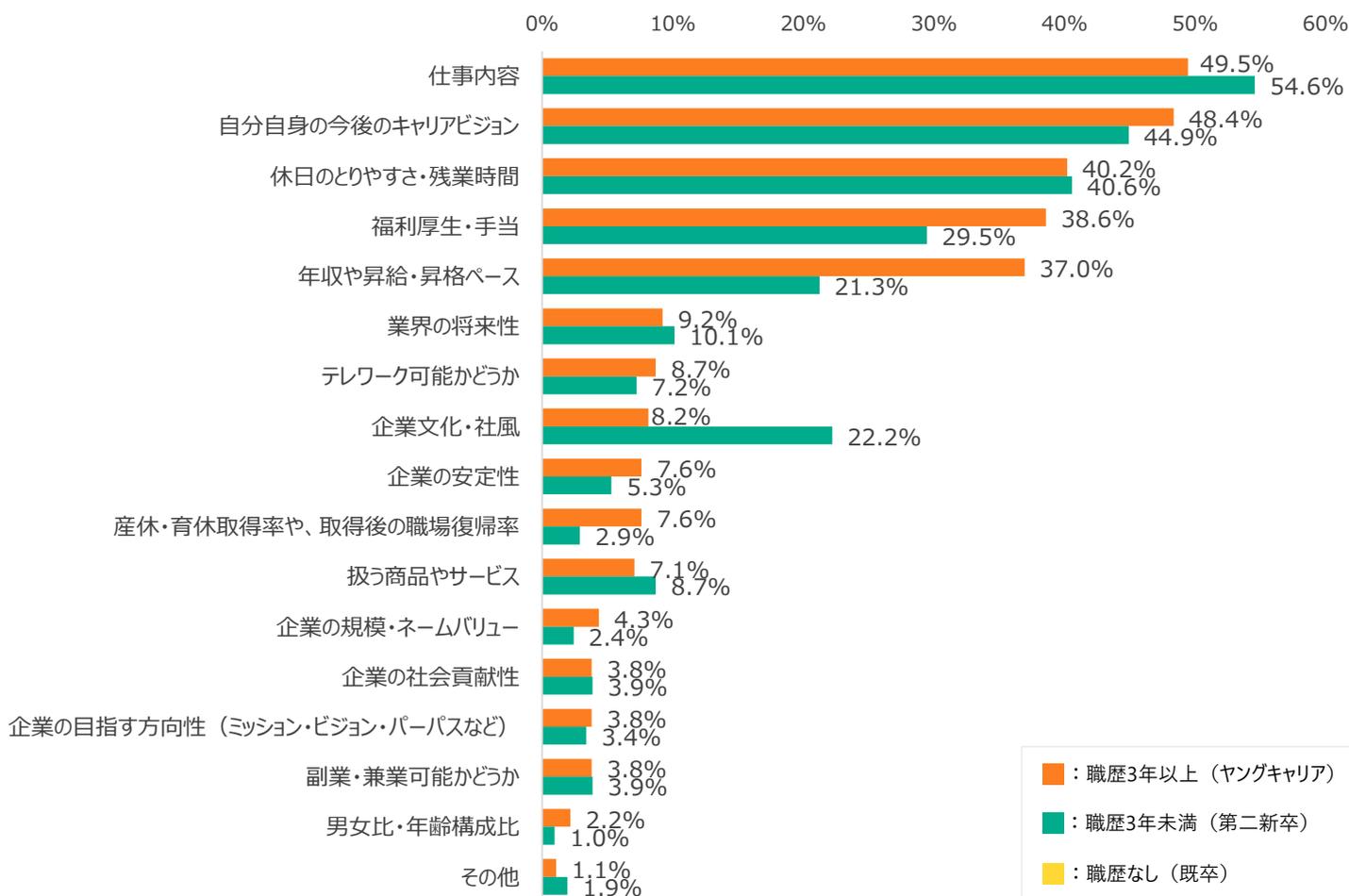
Q. 新卒での就職活動と比べて、重視するようになったことや、会社を選ぶ視点に変化はありましたか？（回答数：541件）



Q. 転職先の企業では、どのくらいの期間働きたいですか？（回答数：466件）



Q. どのような点を重視するようになりましたか？（回答数：437件）



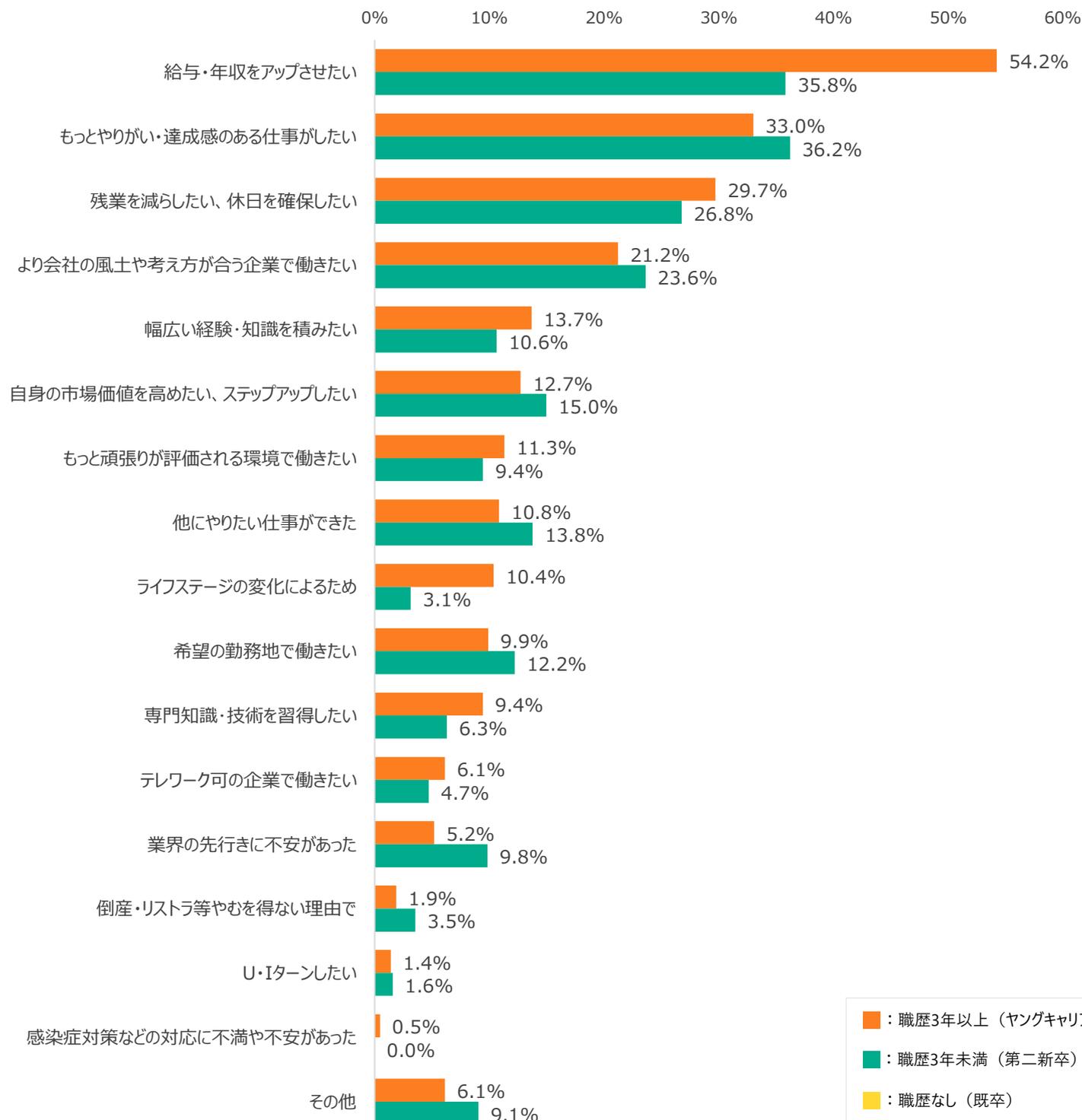
新卒での就職活動と比べて、重視するようになったことや、企業を選ぶ視点に「変化があった」と回答した20代が80.8%に上りました。重視するようになったこと1位は「仕事内容」。2位「自分自身の今後のキャリアビジョン」、3位「休日のとりやすさ・残業時間」、4位「福利厚生・手当」が続きました。次いで回答を集めた項目は、社会人経験3年以上の「ヤングキャリア」と社会人経験3年未満の「第二新卒」で分かれており、ヤングキャリアは「年収や昇給・昇格ペース」37.0%、第二新卒は「企業文化・社風」22.2%でした。

また、転職先の企業で働きたい年数は、「不満が特にない限り、できるだけ長く働きたい」が63.7%で最多。転職先の企業で、長く働くことを希望する20代が6割を超えました。

04 転職理由

ヤングキャリアの転職理由は、「給与・年収をアップさせたい」が最多。
第二新卒は、より「仕事のやりがい・達成感」を重視。

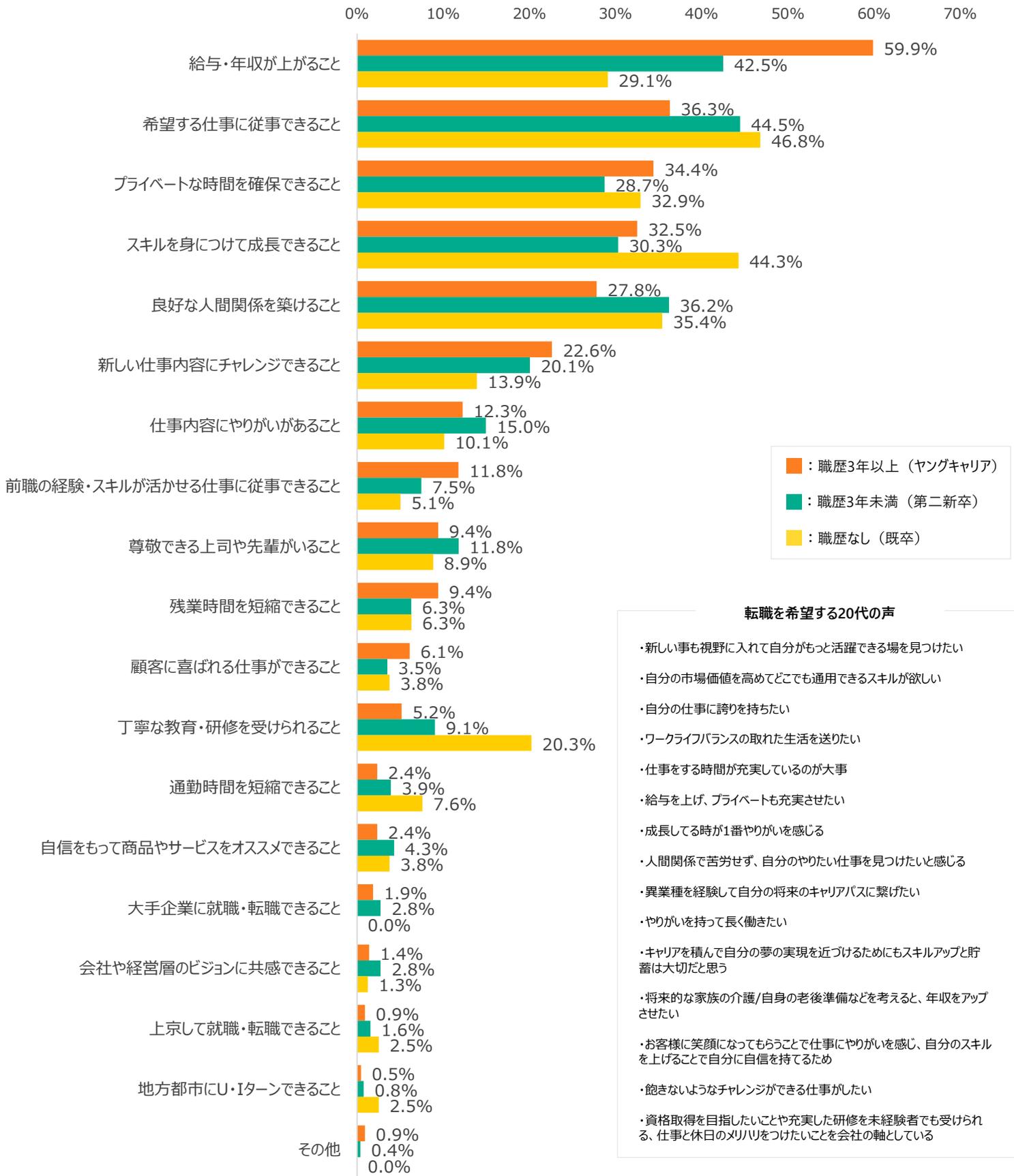
Q.転職しようと思った理由は何ですか？（回答数：466件）



社会人経験3年以上の「ヤングキャリア」の転職理由は、「給与・年収をアップさせたい」が54.2%で最多。「もっとやりがい・達成感のある仕事がしたい」33.0%、「残業を減らしたい、休日を確保したい」29.7%が続きました。

社会人経験3年未満の「第二新卒」の転職理由は、「もっとやりがい・達成感のある仕事がしたい」が36.2%で最多。「給与・年収をアップさせたい」35.8%、「残業を減らしたい、休日を確保したい」26.8%が続きました。転職理由は、ヤングキャリアと第二新卒で大きな違いはないものの、ヤングキャリアはより「給与・年収アップ」を、第二新卒はより「仕事のやりがい・達成感」を重視していることが分かります。

Q.転職・就職で実現したいことは何ですか？（回答数：561件）

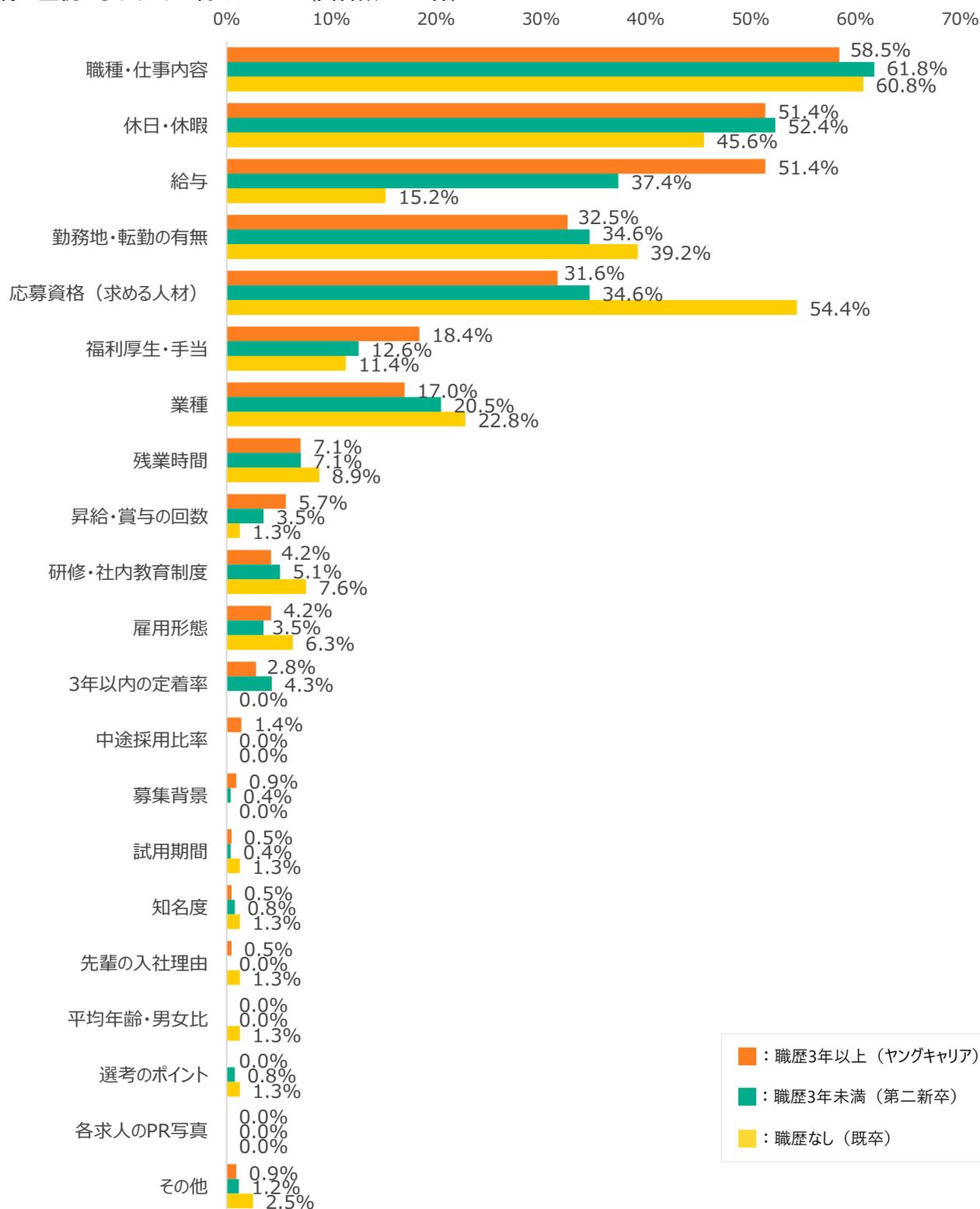


転職において実現したいことも、社会人経験3年以上の「ヤングキャリア」と、社会人経験3年未満の「第二新卒」では異なる結果となりました。ヤングキャリアが転職で実現したいことは、「給与・年収が上がること」が59.9%で最多。「希望する仕事に従事できること」36.3%、「プライベートな時間を確保できること」34.4%が続きました。一方、第二新卒が転職で実現したいことは、「希望する仕事に従事すること」44.5%が最多。「給与・年収が上がること」42.5%、「良好な人間関係を築けること」36.2%が続きます。卒業後3年以内の「既卒」が就職で実現したいことは、「希望する仕事に従事できること」46.8%が最多。「スキルを身につけて成長できること」44.3%、「良好な人間関係を築けること」35.4%が続きました。

05 求人情報で重視するポイント

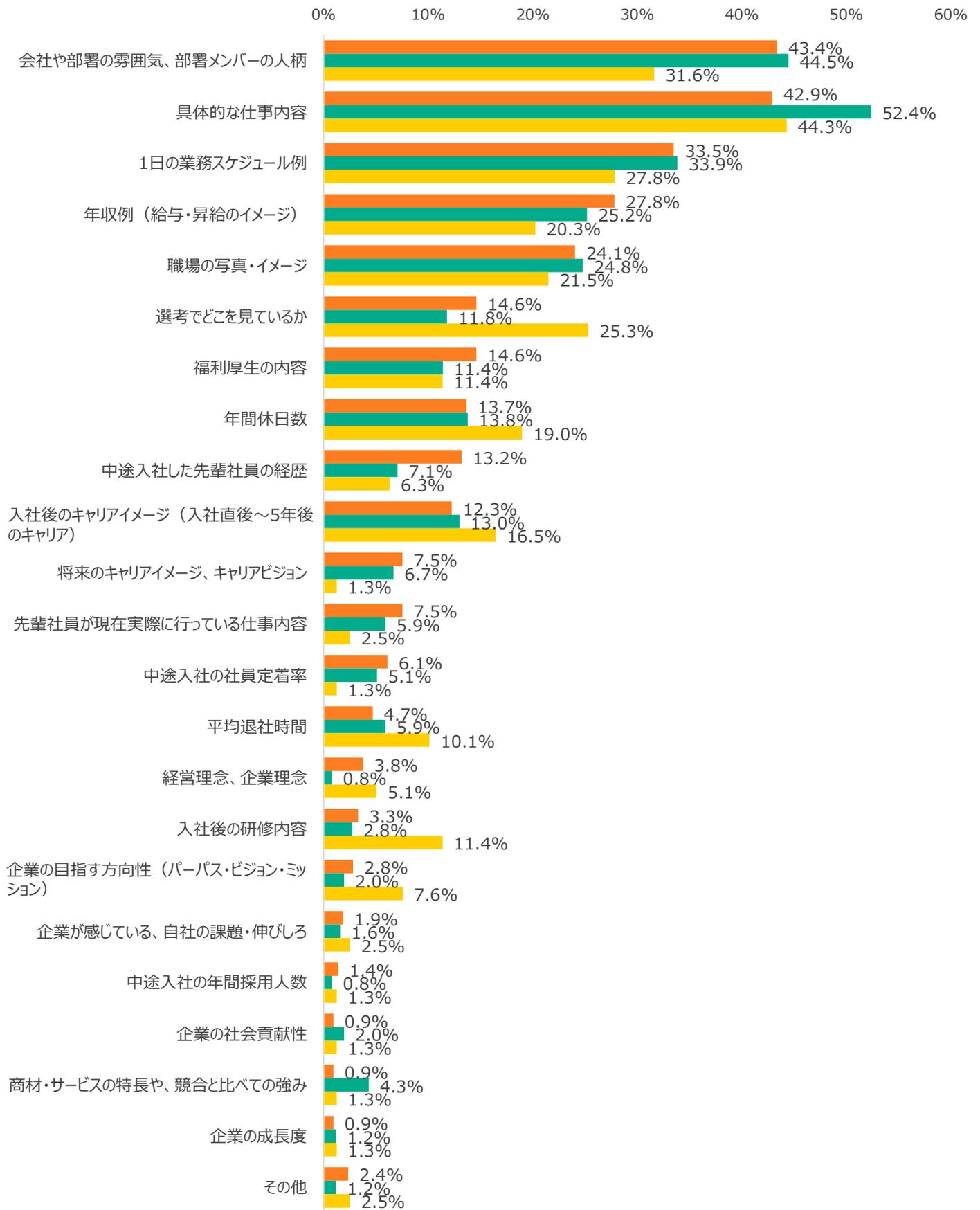
求人情報で重視するポイントは「職種・仕事内容」が最多。
 求人情報でより詳しく知りたい情報は「具体的な仕事内容」「会社や部署の雰囲気」。

Q.求人情報を見る際に重視するポイントは何ですか？（回答数：561件）



求人情報を見る際に重視するポイントは、職歴3年以上の「ヤングキャリア」、職歴3年未満の「第二新卒」、卒業後3年以内の「既卒」いずれにおいても「職種・仕事内容」が最多となりました。次いで回答を集めた項目は、ヤングキャリアや第二新卒の回答では、「給与」「休日・休暇」、既卒では「応募資格 (求める人材)」「休日・休暇」となりました。

Q.求人情報を見る際、より詳しく知ることができたら嬉しいと思う情報は何か？（回答数：561件）

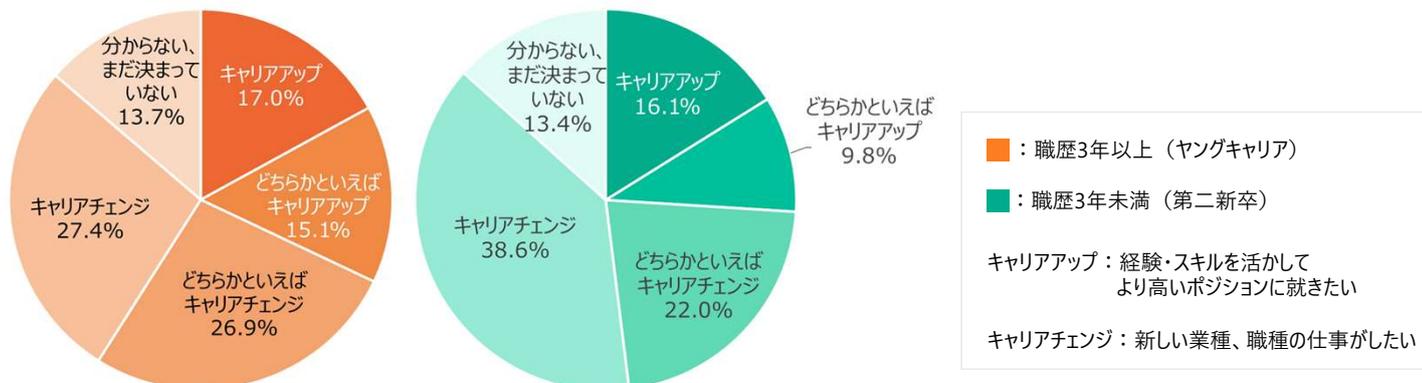


求人情報で詳細を知れると嬉しい情報は、「具体的な仕事内容」「会社や部署の雰囲気、部署メンバーの人柄」が上位に並びました。次いで回答を集めた回答は、職歴3年以上の「ヤングキャリア」や、職歴1年未満の「第二新卒」では「1日の業務スケジュール例」「年収例（給与・昇給のイメージ）」が挙げられました。自分が働いた後のイメージを、具体例を持って明確にしたい意図がうかがえます。また、就業経験がない「既卒」は、「選考で何を評価しているか」の回答が、ヤングキャリアや第二新卒よりも10ポイント近く高い結果となりました。同じ20代でも、就業経験の有無や、経験年数によって、詳しく知りたいと思う情報は異なることが分かります。

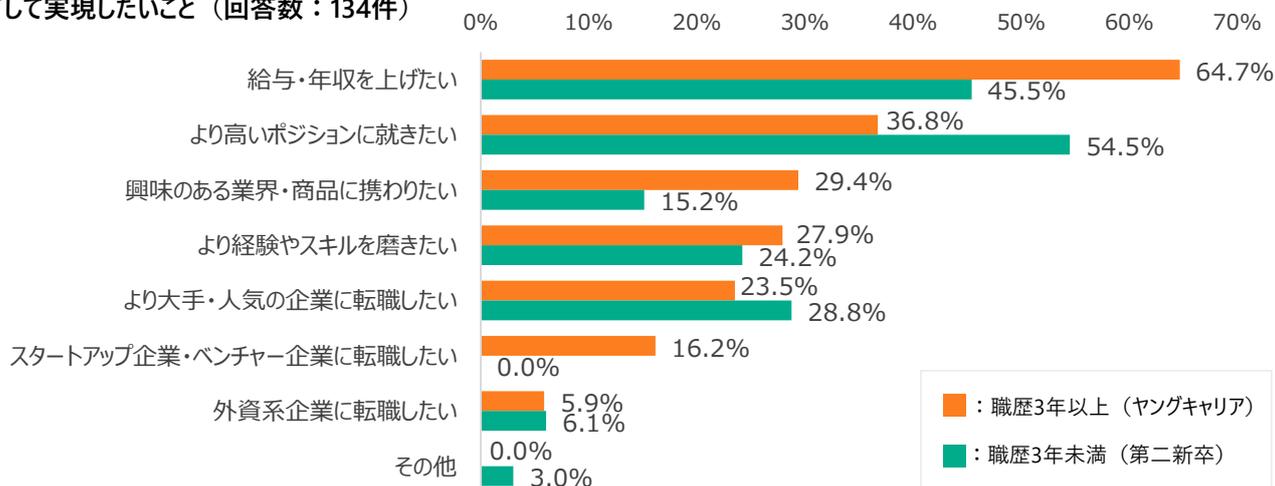
06 転職の方向性（転職で実現したいキャリア）

20代の半数以上が、転職で「キャリアチェンジ」を希望。
経験業種・職種と異なる仕事に挑戦する傾向。

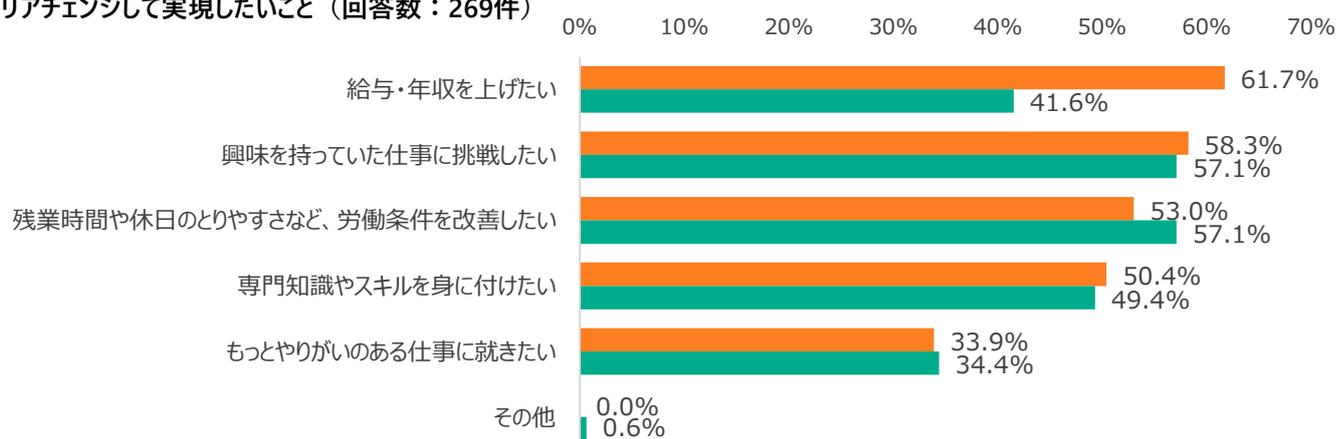
Q. 転職において、「キャリアアップ」と「キャリアチェンジ」のどちらを希望しますか？（回答数：466件）



ーキャリアアップして実現したいこと（回答数：134件）



ーキャリアチェンジして実現したいこと（回答数：269件）



社会人経験3年以上の「ヤングキャリア」は、54.3%が経験業種・職種と異なる仕事への「キャリアチェンジ」を希望。「キャリアアップ」を希望する割合は、32.1%でした。また、社会人経験3年未満の「第二新卒」は、60.6%が「キャリアチェンジ」を希望。第二新卒では、経験業種・職種と異なる仕事への挑戦を希望する人が6割を超えます。「キャリアアップ」を希望する割合は、25.9%でした。

「キャリアチェンジ」を通じて実現したいことは、ヤングキャリアと第二新卒で異なる結果となりました。ヤングキャリアは、「給与・年収を上げたい」が61.7%で最多。「興味を持っていた仕事に挑戦したい」58.3%が続き、一方、第二新卒は「興味を持っていた仕事に挑戦したい」、「残業時間や休日のとりやすさなど、労働条件を改善したい」が、同割合の57.1%で最多となっています。

「ヤングキャリア」が、キャリアアップを通じて実現したいことは「給与・年収をアップさせたい」が64.7%で最多。「より高いポジションにつきたい」36.8%、「興味のある業界・商品に携わりたい」29.4%が続きました。一方、「第二新卒」が、キャリアアップを通じて実現したいことは「より高いポジションに就きたい」が54.5%で最多。「給与・年収をアップさせたい」45.5%、「より大手・人気企業に転職したい」28.8%が続きました。

07 応募前の情報収集

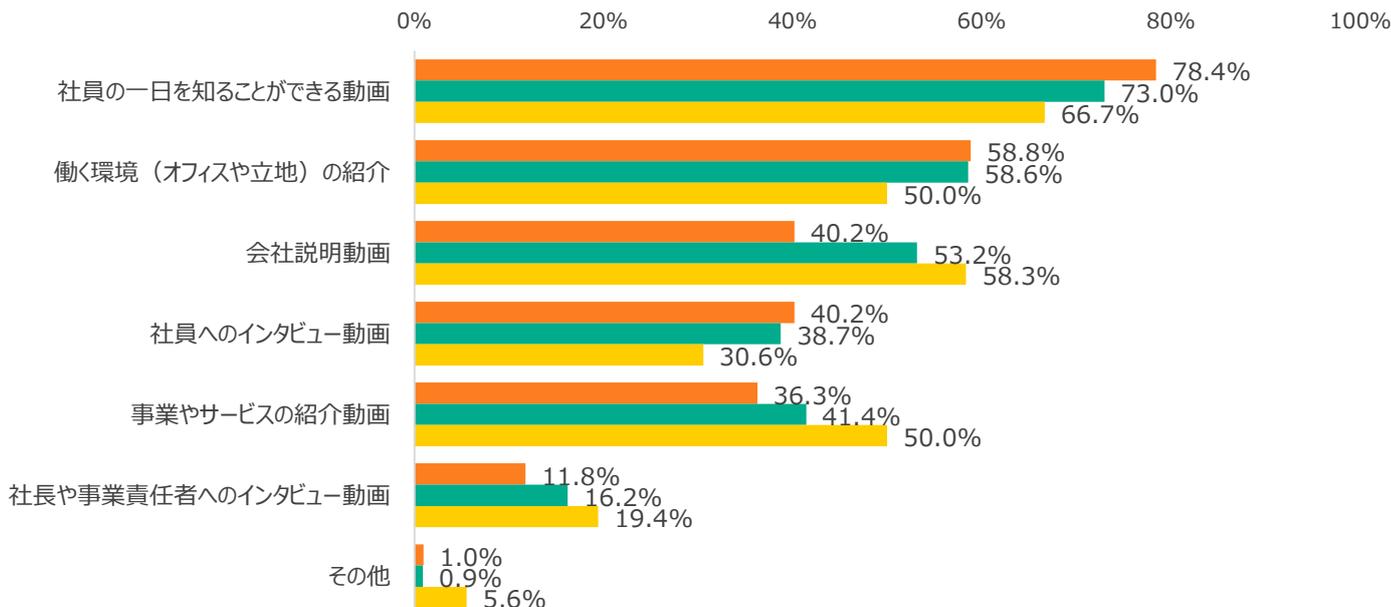
企業理解を深めるために活用したいコンテンツは、「動画」が45.5%で最多。
 企業理解をより深められる動画は、「社員の一日を知ることができる動画」が最多。

Q.会社の雰囲気を知らるためにより活用したいと感じるのはどのコンテンツですか？（回答数：561件）

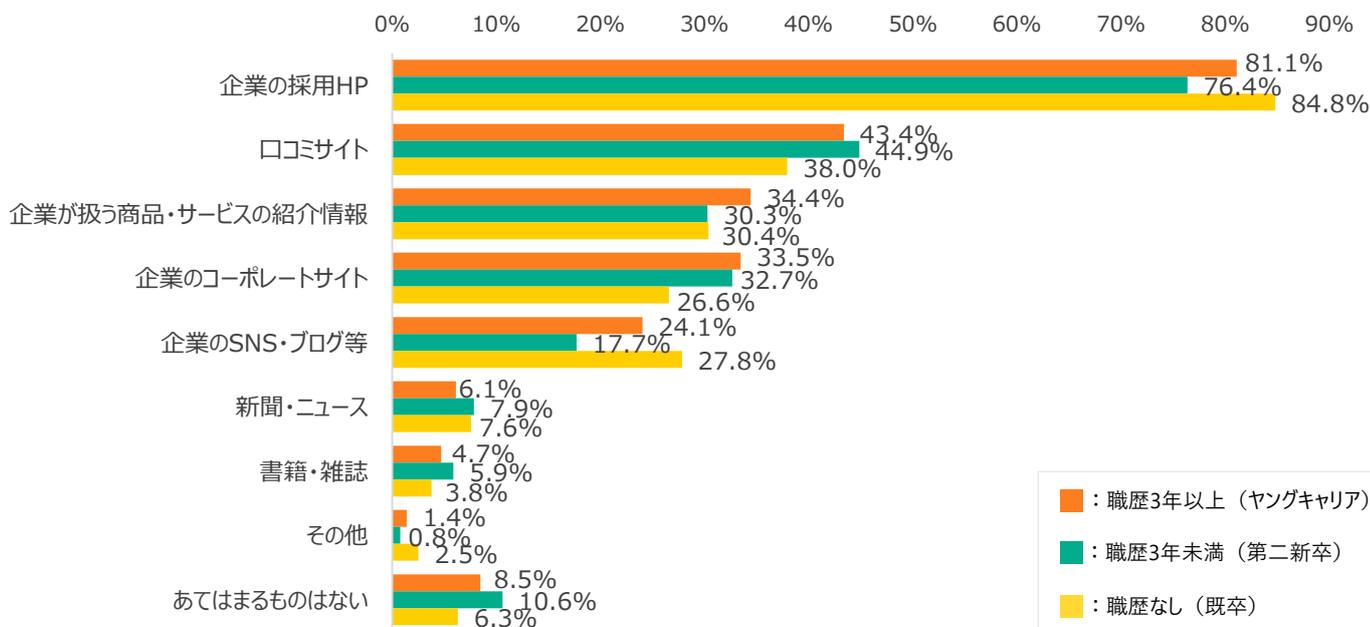
その他 0.7%



Q.どのような内容の動画だと、より「応募したい」と感じられますか？（回答数：255件）（※「動画」を活用したいとした20代が回答）



Q.求人に応募するために、求人情報以外で収集する情報はありますか？（回答数：561件）

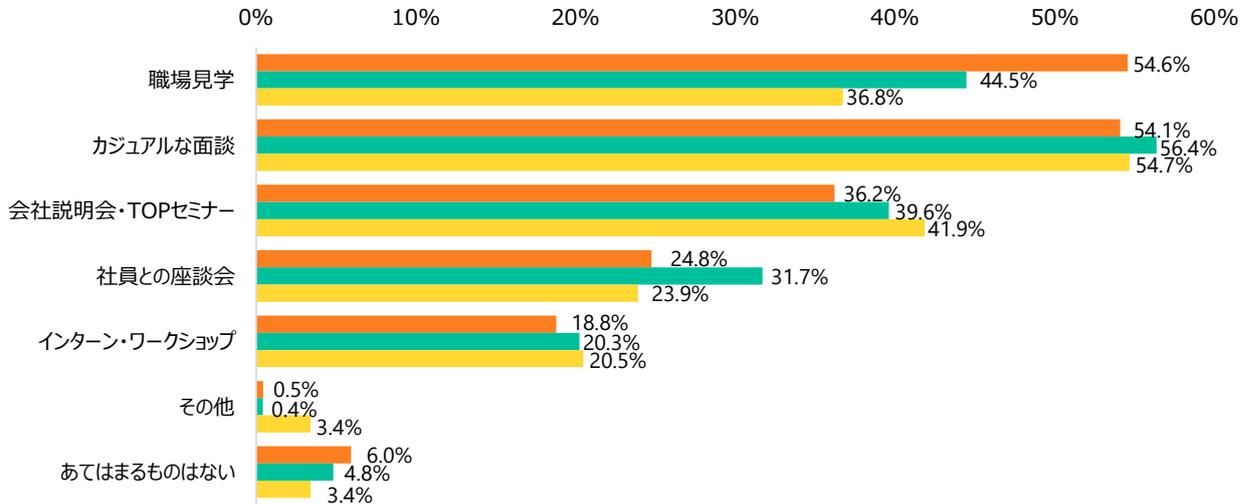


応募する企業の雰囲気を知らるために活用したいものは「動画」が45.5%で最多。20代は「会社の雰囲気」を知らるために「動画」での情報収集をしたいと考えていることが分かります。より「応募したい」と感じる動画の内容は「社員の一日を知ることができる動画」が最多。「働く環境（オフィスや立地）の紹介」が続きました。企業の雰囲気を知れたり、実際に働くイメージが湧く情報を得ることで、応募意欲が高まることが分かりました。また、求人に応募する上で求人情報以外に収集する情報は、ヤングキャリア・第二新卒・既卒とも、「企業の採用HP」が最多。「口コミ」が二番目に続きました。

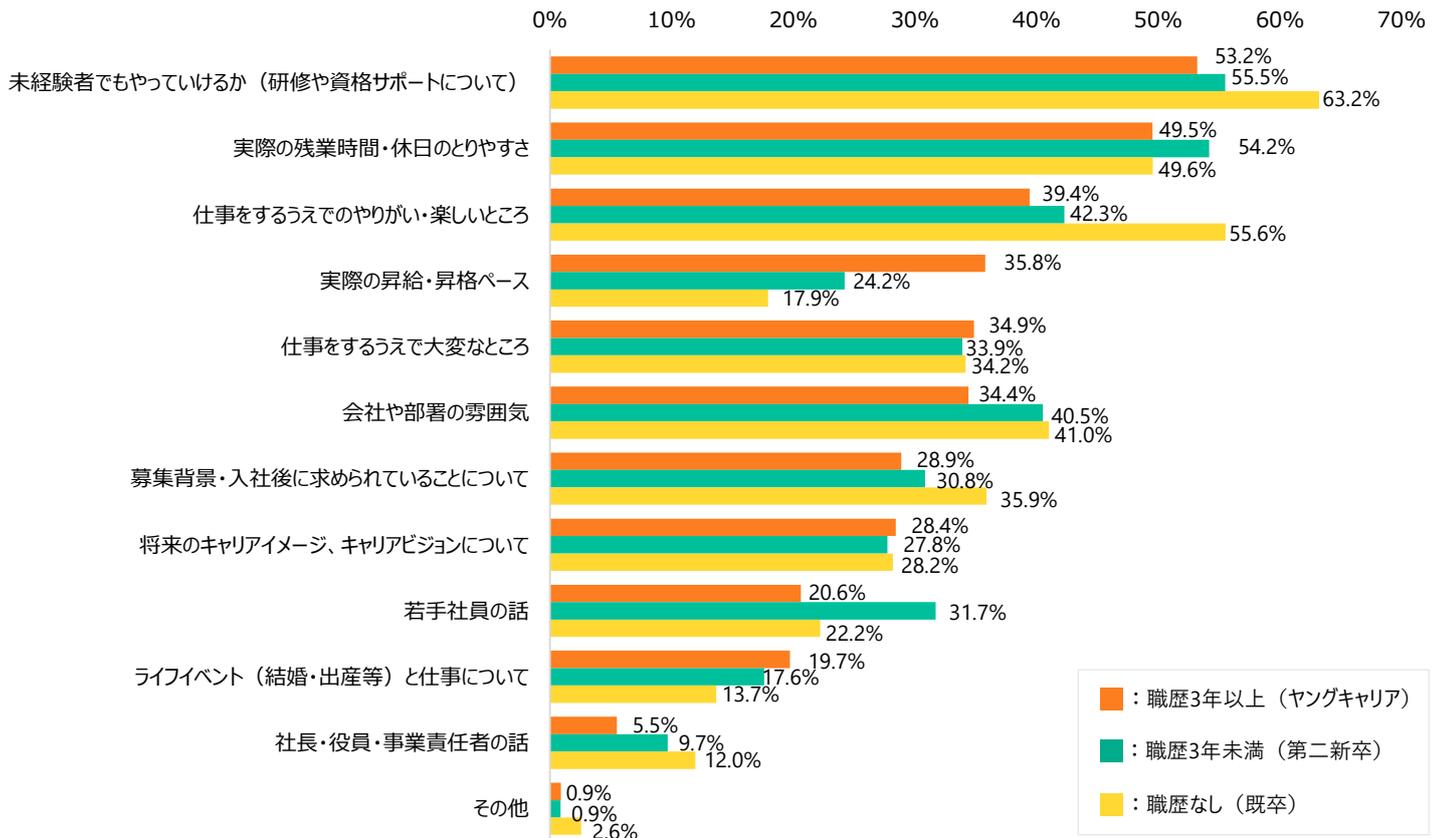
08 選考過程での情報収集

選考過程で実施して欲しいこと1位は、ヤングキャリアが「職場見学」、既卒・第二新卒が「カジュアルな面談」。最も知りたいことは「未経験者でもやっていけるか」。

Q.選考過程で実施してほしいことは何ですか？（回答数：561件）



Q.面接・選考過程でどのような情報が得られると志望度が上がりますか？（回答数：561件）



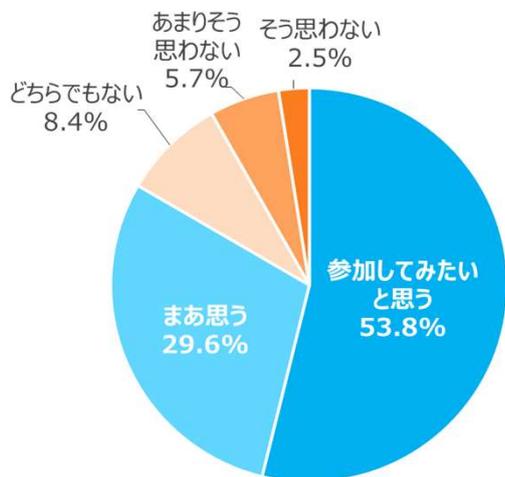
選考過程で実施して欲しいことは、職歴3年以上のヤングキャリアは「職場見学」が54.6%で最多。「カジュアルな面談」54.1%が続きました。職歴3年未満の第二新卒は、「カジュアルな面談」が56.4%で最多。「職場見学」44.5%が続きました。職歴がない既卒では、第二新卒と同じく「カジュアルな面談」が54.7%で最多。「会社説明会・TOPセミナー」が続きました。ヤングキャリアは「自分の目で見て確かめたい」意向が強く、第二新卒や既卒は、「人事担当者などの話を聞いて理解を深めたい」意向が強いと推察されます。

また、選考過程で得られると志望度が上がる情報は、「未経験者でもやっていけるか（研修や資格サポートについて）」が最多。次いで回答を集めた項目は、ヤングキャリアと第二新卒が「実際の残業時間・休日のとりやすさ」、既卒が「仕事をするうえでのやりがい・楽しいところ」でした。ヤングキャリアは「今後のステップアップのイメージ」、第二新卒は「働く環境・会社の雰囲気」、既卒は「仕事内容」について、より理解を深めたいと考えていることがうかがえます。

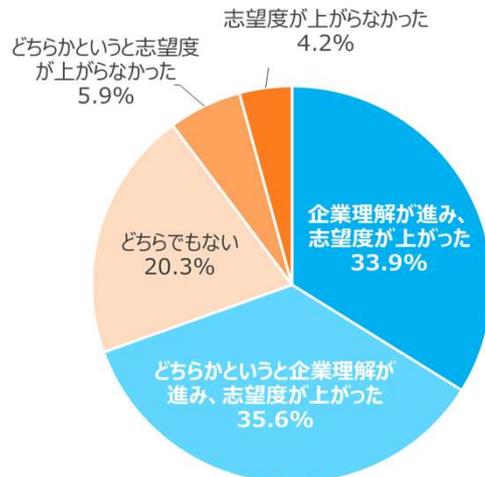
09 カジュアル面談

カジュアル面談で聞きたいことは「入社した場合に自分が行う仕事内容」が最多。「カジュアル面談に参加し、志望度が上がった」と回答した20代が7割に迫る。

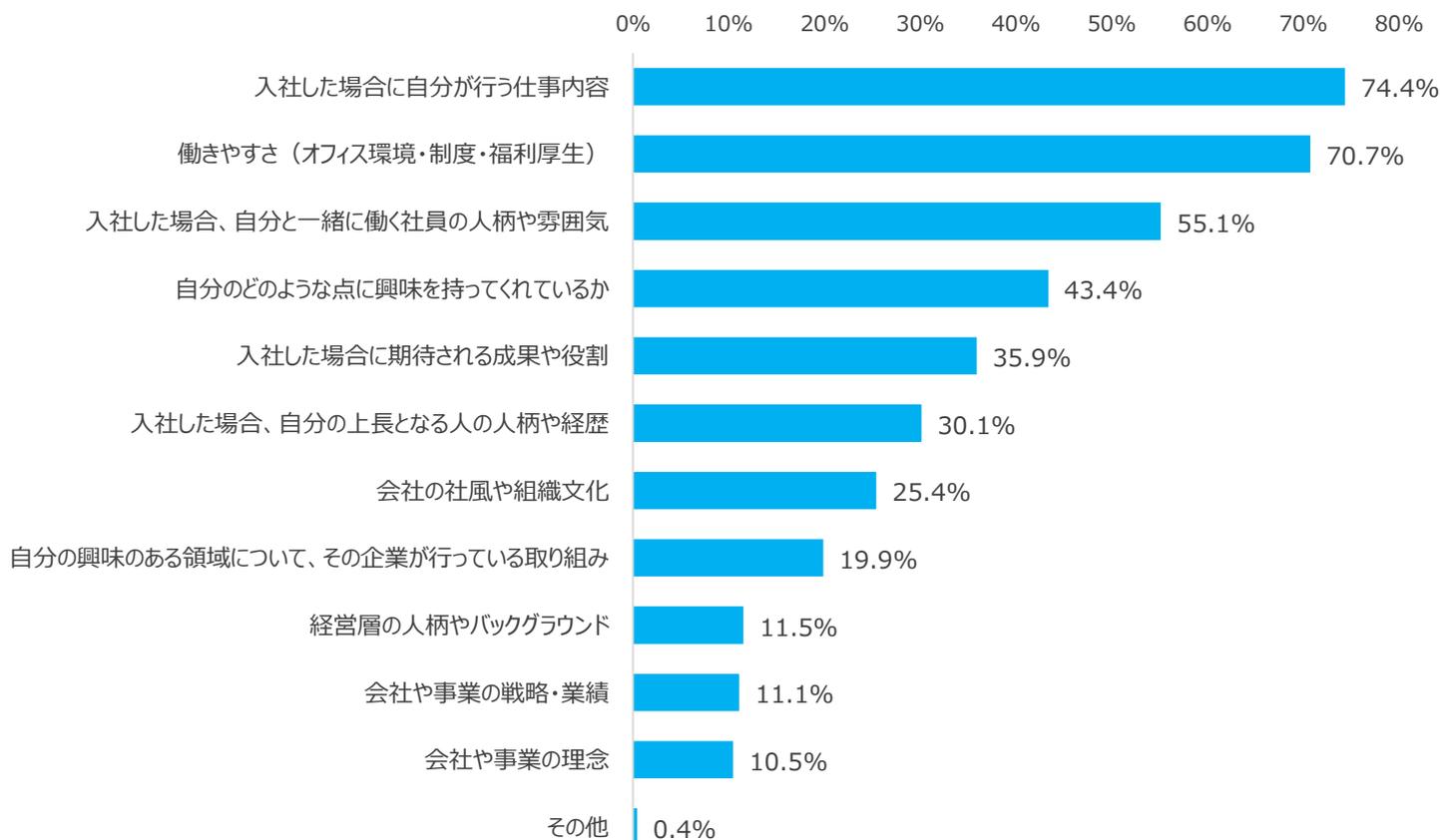
Q.企業とのカジュアル面談の機会があったら、参加してみたいと思いますか？（回答数：561件）



Q.カジュアル面談に参加したことで、志望度が上がったり、企業理解が進みましたか？（回答数：118件）



Q.カジュアル面談ではどのようなことを聞きたい（話したい）ですか？（回答数：468件）



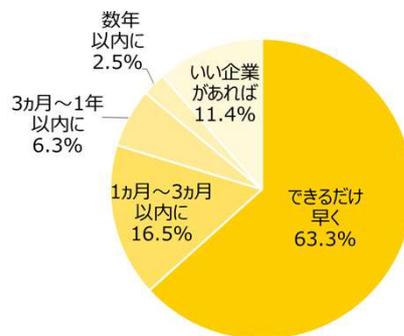
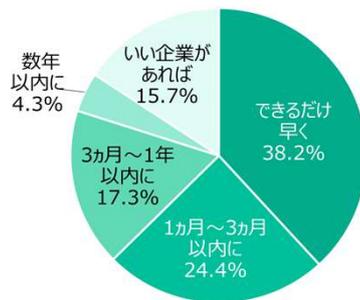
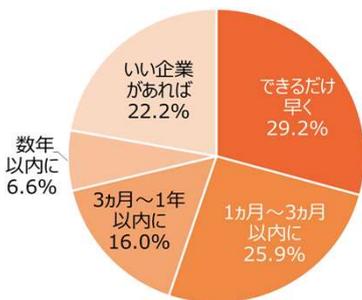
カジュアル面談について、機会があれば「参加したいと思う」と回答した20代が53.8%に上りました。「どちらかといえば参加したいと思う」29.6%を合わせると、8割超の20代がカジュアル面談の参加を希望していることが分かります。また、実際にカジュアル面談に参加したことで、「企業理解が進み、志望度が上がった」と回答した20代が33.9%に上りました。「どちらかという企業理解が進み、志望度が上がった」35.6%を合わせると、カジュアル面談を通じて「志望度が上がった」とした20代が7割に迫りました。

カジュアル面談で聞きたいことは、「入社した場合に自分が行う仕事内容」が74.4%で最多。「働きやすさ（オフィス環境・制度・福利厚生）」70.7%、「入社した場合、自分と一緒に働く社員の人の人柄や雰囲気」55.1%が続きました。カジュアル面談を通じて、入社後の仕事や配属部署の雰囲気を知りたいという意向がうかがえます。

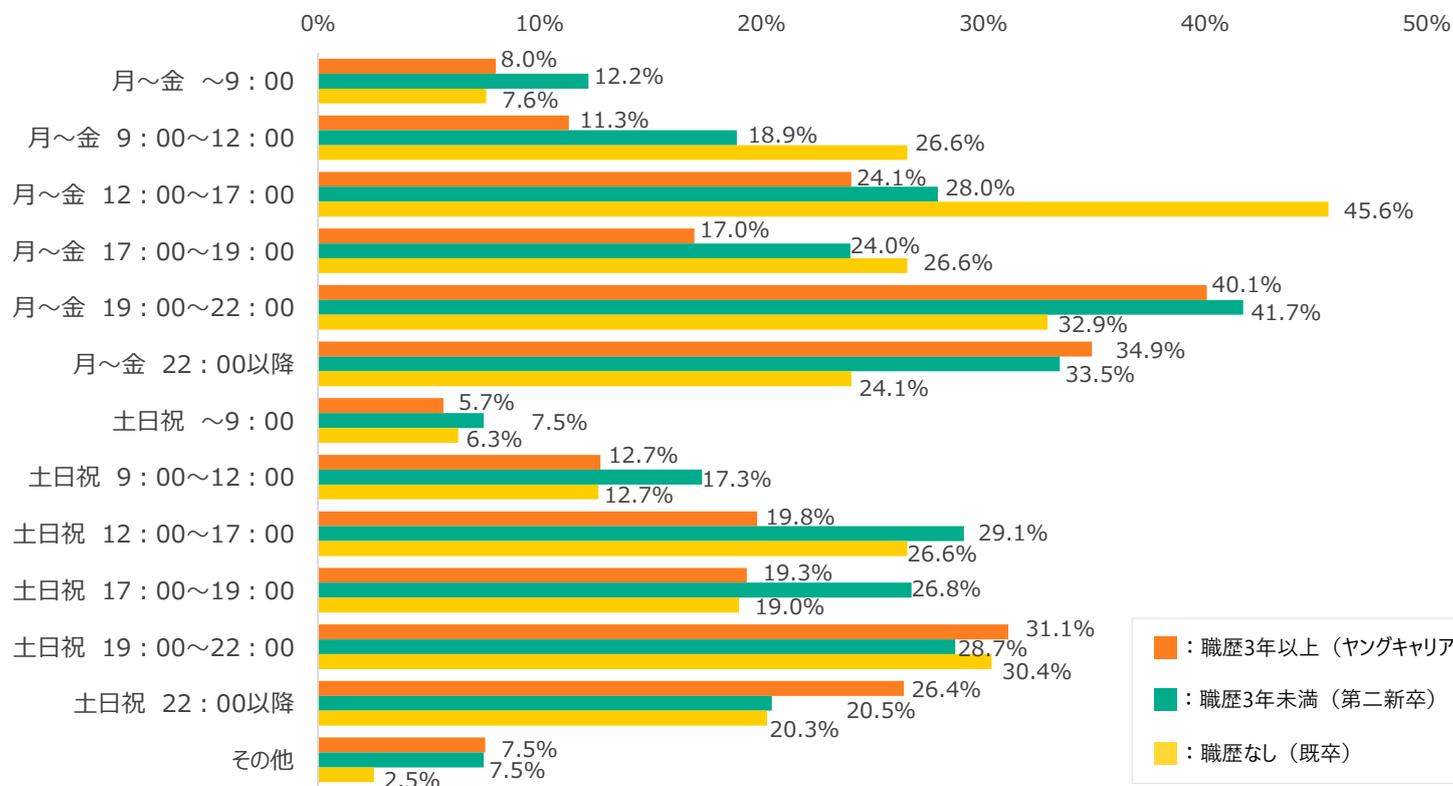
10 転職活動を行う時期・時間

ヤングキャリア・第二新卒の4割前後は3か月以上先を見据えて転職活動を行う。
求人サイトを閲覧するのは、平日のお昼時や就業時間以降の閲覧が多い傾向。

Q.就職・転職希望時期はいつですか？（回答数：561件）



Q.求人サイトを閲覧するタイミングはいつですか？（回答数：561件）



就職・転職希望時期について、直近3か月以内と回答した人の割合は、職歴3年以上の「ヤングキャリア」では55.1%、職歴3年未満の「第二新卒」では62.6%、卒業後3年以内の「既卒」では79.8%でした。いずれの属性においても過半数が直近3か月以内の転職を希望する一方で、ヤングキャリアや第二新卒の4割前後は3か月以上先を見据えた転職活動をしていることも明らかになりました。
求人サイトを閲覧するタイミングは、全体として土日祝よりも平日に閲覧する傾向、午前中よりも午後～夜に閲覧する傾向が見られました。その中でも、就業経験のあるヤングキャリアや第二新卒では「月～金 19:00～22:00」が最多。既卒では「月～金 12:00～17:00」でした。

サービスに関するお問い合わせ

< 経験者サービスに関するお問い合わせ >



< その他サービスに関するお問い合わせ >

